

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月19日

計画の名称	馬橋川沿岸盛土緊急対策事業												
計画の期間	令和06年度 ~ 令和06年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	酒々井町												
計画の目標	盛土総点検にて、災害防止措置の有無が確認できなかった盛土について、勧告・命令等の行政指導を行うため安全性把握調査を実施する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	21	A	21	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R6年度当初)	中間目標値	最終目標値 (R6年度末)
1	盛土の崩落による災害の防止 人家、公共施設等に被害を及ぼすおそれのある事業箇所について、詳細調査の結果、または対策工事の実施により、事業箇所の安全性を確認し、盛土が崩落した際に影響を受ける可能性がある世帯に対し、盛土の安全性が確認できた旨を周知する。 盛土が崩落した際に影響を受ける可能性がある世帯に安全性が確保された旨を周知した割合 = 当該箇所の安全性を周知した世帯数 / 盛土が崩落した際に影響を受ける可能性がある世帯数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R06	R07	R08	R09	R10				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	盛土	一般	酒々井町	直接	酒々井町	-	-	盛土の安全性把握調査	土質調査、地形測量、安定計算等	酒々井町						21	-		
												小計						21		
												合計						21		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
酒々井町経済環境課環境対策室にて事後評価を実施	令和7年10月
	公表の方法
	酒々井町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	地質調査及び土壌分析の結果を踏まえ、安定性評価を行った結果、不安定な状態であることが判明した。 河川が閉塞し通水が阻害されないようにする応急対策は必要であり、開渠部分について、馬橋川に対する災害リスクを低減させるための工事を検討することになった。 盛土が崩落した際に影響を受ける可能性がある地区等に説明会を行い周知した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
当該箇所の盛土の崩落を示唆するような変状等を確認するため、今後も現場パトロール等を実施し、対策工事を進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%